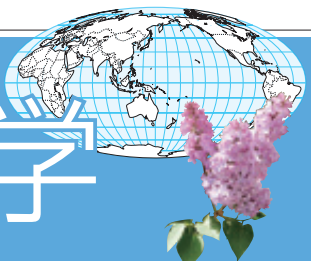


學報

学校法人 北海学園
北海商科大学
商学部〔商学科・観光産業学科〕
アジアの時代に アシアを学ぶ
Hokkai School of Commerce Newsletter



Vol.34
2023.6.20
発行:北海商科大学
編集:北海商科大学広報委員会
〒062-8607
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番
地下鉄東豊線「学園前」駅直結
TEL:011-841-1161(代表)
FAX:011-841-0801
https://www.hokkai.ac.jp
制作:(株)ラボット

主な記事		
2.	学長就任の挨拶	2面
3.	新学部長挨拶	2面
4.	研究科長・学部長・センター長紹介	2面
5.	2022年度卒業式	2面
6.	2023年度入試結果概要	2面
7.	新年次ガイダンスと履修登録、優秀学生表彰	3面
8.	2022年就職状況と2023年就職動向について	3面
9.	入学前教育について	3面
10.	特集【座談会】3年ぶりの留学再開	4・5面
11.	国際交流について	5面
12.	留学報告記	5面
13.	トルコ・エルジェス大学との国際交流	6面
14.	外国語スピーチコンテスト	6面
15.	全日本フルコンタクト空手道選手権優勝	6面
16.	サークル活動紹介	6面
17.	ゼミ訪問 堤悦子ゼミ	7面
18.	日商簿記1級合格	7面
19.	高校生懸賞作文の募集	7面
20.	OB・OG NOW!	7面
21.	新任教職員紹介	8面
22.	新刊紹介	8面
23.	大学からのお知らせ	8面



新入生代表宣言を行う小林菜大さん

令和5年度 入学式挙行

2023(令和5)年度入学式が4月3日月曜日、ホテル札幌ガーデンパレスにおいて、新入生は学部174名、中国煙台大学5名と韓国大田大学校3名の交換留学生の合わせた182名の新入生を迎え、保護者のみなさま、教職員列席のもとと行われました。堂徳学長の式辞に続いて新入生を代表して、小林菜

大(北海道芽室高校)さんによる代表宣誓が行われました。入学式会場には歴史ある北海学園で新しいアジアの時代を見据えた幅広いビジネス活動に欠かせない基本となる知識を学ぼうとする志を持った新入生が今年も数多く入学しました。(事務長 柴田 敬司)



2023(令和5)年度第47回 入学式式辞(要旨)

新入生の皆さん、本学へのご入学、誠におめでとうございます。本日、北海商科大学の新入生182名を迎えられますことを教職員一同、大きな喜びとしております。本来であれば、皆さんをお迎えして、ご来賓をはじめ、多くの関係の皆様とともに盛大な入学式を挙行するところですが、新型コロナウイルス感染症対策として、皆さんの健康・安全面を第一に考慮し、式の内容を縮小して実施することと致しました。その上で本年は、国の感染症対策の緩和の方針を踏まえ、昨年までとは異なり、会場への人数制限はしつつも、保護者の皆さまにご出席をいただきますとともに、教職員一同が集い、入学式を挙行できますことを心より嬉しく思います。

入学にあたり、私からは手短ではありますが、皆さんに特に、お伝えしたいことを申し述べます。北海商科大学は、東京以北で最大の都市、札幌市の豊平区で、地下鉄に直結した恵まれた都市環境のもとに開学し、今回で17回目の入学式を迎えました。本学の新たな歴史は、この度入学された皆さんが、築き上げて行くものです。教職員一同も、所定の入学試験に見事に合格し、入学された皆さんとともに独自の校風を築いて行くことを楽しみにしております。

さて、今日はAIやIOT等をはじめとした技術革新が急激に進む一方、グローバル化の行き詰まりや、地球環境問題等の深刻な課題が指摘されるなど、まさに転換期の様相を呈しています。

皆さんが選択した大学進学という先のステージには、社会の担い手としての長い人生が待っています。

今後も続くと思われる変化の激しい時代にあって、よりよい社会の形成者となるための資質・能力を身に付けることは容易ではないものと思います。

しかし、皆さんの多くは高校入学から卒業までの三年間を新型コロナ感染症の下で我慢の多い高校生活を乗り切りました。また、昨年4月からの18歳成人の法令改正に伴い、全員が成人年齢に達した最初の学年です。そうした皆さんが大学進学之机を得ました。もとより、大学は主体的・自律的に学び、人格形成に専心することができる場です。皆さんには、ぜひ、この恵まれた時間と環境を活かされることを期待します。

まずは、「期待される学び」について申し上げます。

北海商科大学は、新しいアジアの時代を見据え、言語・文化・社会を基礎に、観光を含めた幅広いビジネス活動に欠かせない基本となる知識を広く深く学ぶ教育を展開しています。

そのため、本学では多彩なカリキュラムを用意するとともに、少人数教育を重視し、研究と教育を統合する人材育成プログラムを展開しています。皆さんには教員と学生との交流であるゼミナールをはじめ、用意されたカリキュラムから自らに適合した学習プログラムを創造し、自らをイノベートして行って下さい。

このことは、知識の習得のみならず、それらを活用し、自ら進んで探究し続けることで成し遂

げられるものです。

また、海外提携大学である中国の煙台大学および山東大学威海校、韓国の大田大学校、カナダのレスブリッジ大学とは積極的な交換留学および各種交流を長く実施してきており、国際的な人材育成に努めています。世界的な新型コロナウイルス感染症による渡航制限などから、一時は困難となった国際交流も、本年度から再開させます。「国際ビジネスと国際観光の分野でリーダーシップを発揮できる優れた人材の育成を目指す」という本学のアドミッション・ポリシーを再認識して、強い信念をもって学習に励んでもらいたいと思います。

次に、「人格の形成」についてです。

大学は高校までと違い、自分の行動を自分で律することが求められます。大学四年間をどう過ごすかは、他人が決めることではなく自分で決めることです。有意義な時間を過ごして将来につながる事ができるかどうかは自分次第です。自由な時間に流されることなく自分自身を見つめ、何をすべきかを考え、行動して欲しいと思います。とりわけ、高校までの履修主義からノングレードの習得主義へと日常生活が転換される中、自ら進んで友を求め、新たな出会いと有為な体験を通じて、自己鍛錬の日々を過ごしてもらいたいと願っています。

そのことは、意見や立場の異なる人々との協働を通じて、現代社会に重要性を増した「ウェルビーイング」すなわち、「持続的な幸福」を築くために必要な人間力を涵養させることでしょう。

大学生活では、多くの出会いと協働の体験を通して、自律した人間性豊かな人格形成に結びつけていって欲しいと思います。

終わりに、北海商科大学はまだ歴史の浅い大学ですが、母体である北海学園の歴史は古く、創立は138年前の明治18年、西暦1885年にさかのぼります。現在、北海学園は、北海学園大学と大学院のほか、北海高等学校と北海学園札幌高等学校を設置しており、1万1千余名の学生生徒が日夜、勉学に励み、また課外活動に精を出しています。

学園全体の卒業生は、道内はもとより、全国各地、さらに海外でも活躍しております。今日皆さんは、その北海学園の仲間として迎えられたわけです。ぜひ、仲間入りの第一歩として、明日から「おはよう」の挨拶を励行するところからはじめませんか。本学の教職員は笑顔で応えて参ります。

新入生の皆さんには、今日の入学式の喜びを忘れず、これからの学生生活に反映させてください。明日への飛躍を確かなものとするよう、皆さんが健康に留意し、精一杯努力することを期待して式辞といたします。

【学長就任のご挨拶】

この度（令和5年4月1日～）、教授会の信任と学校法人北海学園理事長の任命を受けて、北海商科大学の第5代学長に就任いたしました。建学の精神「開拓者精神の涵養」を現代に敷衍して、本学の発展に一心専心する所存です。宜しくお願いいたします。

さて、今次中教審答申(3月8日)は2040年以降の先行きが不透明とされる社会を念頭に「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイング（持続的な幸福の概念）の向上」を次の教育振興基本計画の基本方針として示しました。



堂徳 将人 学長

大学はこれまでもグローバル化やDXの進展等に応じて地域の共創拠点化を目指してきましたが、今後は社会と個人との相互循環的な実現に視座を置いて教育研究を進めることが一層重要です。

本学では、こうした時代の要請に応えるべく、「信頼される大学」「魅力ある大学」「支持的風土の大学」を経営方針に掲げ、全教職員の協働体制を築きながら「学生の個別最適で協働的な学び」と「地域貢献」の具現化に向けて邁進することをお約束して、学長就任のご挨拶を申し上げます。

新 令和5年度 学部長挨拶



商学部長 山田 勅之

DX化を見据えた商学教育目指して

およそ3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症流行がようやく終息に入ろうとしています。この間、社会に様々な問題が顕在化しました。とりわけICTやデータサイエンス、AIなどをいかに有効に活用していくか、すなわち社会のDX（Digital Transformation）化が大きな課題として立ち現れたと思います。

本学はカネを通じたモノ・サービスの取引・交換を対象とする商学を学ぶ場であるとともに、「アジアの時代にアジアを学ぶ」を教育目標に据えて実践的コミュニケーション能力の向上を目指してきました。

現代社会の特徴の一つに、ヒト・モノ・カネ・情報が大量かつ瞬時に世界へ移動する現象が挙げられます。今後この現象を一層加速させるのが、地球規模で進展するDX化であることは間違いなく、したがってその運用能力の獲得が急務であることは疑いないものでしょう。

本学がこれまで培ってきた商学教育と実践的コミュニケーション力養成に、これらを結び付けて実社会に貢献できる人材育成を目指して参りたいと思います。

研 究科長・学部長・ センター長紹介

- 大学院研究科長
- 商学部長
- 教務センター長
- 学術発展センター長
- 入試・広報センター長
- キャリア支援センター長
- 学生支援センター長
- 国際交流センター長

- 佐藤 博樹 教授
- 山田 勅之 教授
- 中西 良之 教授
- 相浦 宣徳 教授
- 佐藤 千歳 教授
- 伊藤 寛幸 教授
- 村松 祐二 教授
- 原子 智樹 教授

2
3
4

5

6



3月18日に札幌パークホテルにおいて举行された2022年度卒業証書・学位記授与式

卒 令和4年度 業証書・学位記授与式

2022(令和4)年度卒業証書・学位記授与式が3月18日(土)、中島公園に隣接する札幌パークホテルにて挙行了しました。新型コロナウイルス感染症の状況に応じた参加者の健康や安全の確保を第一に考え、昨年に引き続きご来賓及びご家族並びに在学生の来場、式典会場近隣での見送り等をご遠慮いただき、本学教員を代表して各センター長の参加に限り実施いたしました。今年度は大学院商学研究科ビジネス専攻博士後期課程修了生1名、同修士課程修了生1名、商学部卒業生219名(商学科125名、観光産業学科94名)の各学科を代表して、時田笑里さん(商学科)、岡田琴美さん(観光産業学科)に卒業証書・学位記が授与されました。その後、教育免許状授与(代表・武田航さん)、学業成績優秀学生各1名(商学科・杉山みなみさん、観光産業学科・伊藤路留さん)に表彰状と記念品が授与されました。最後に学歌を聴き、卒業証書・学位記と4年間の思い出を胸に、卒業生は会場を後にしました。(事務長 柴田 敬司)

入 令和5年度 試結果概要

本年度の入学者選抜は、学校推薦型選抜と総合型選抜では、高校までの学びや課外活動の積み重ねについて、一人ひとりの受験生の状況を慎重に検討し、本学での学びに向けた意欲や基礎知識を確認しました。一般選抜と共通テスト利用選抜は、大学での学修の土台となる基礎学力の着実な定着を確認する内容としました。以下、選抜区分ごとに結果を報告します。

総合型選抜は、受験生に対して小論文やプレゼンテーションの事前指導を行い、さらに合格者には入学前教育を用意し、高大接続改革を踏まえた取り組みを行いました。本年度の結果は、総合型選抜1期(10月)と2期(12月)を合わせて志願者、合格者ともに24名でした。

学校推薦型選抜では、指定校制に49名、公募制に13名、併設校には6名の出願がありました。この結果、総合型選抜と学校推薦型選抜を合計した入学者は92名となり、入学定員180名に対して5割を少し超える結果となりました。

一般選抜(2月8日・13日試験)は、志願者が114名と昨年度に比べ増加しました。他方、大学入学共通テスト利用選抜は、1期・2期を併せた定員20名に対して志願者165名と、2022年度よりも減少しました。本学の共通テストの志願者数は、2022年度は前年度比で増えており、1年ごとに増減を繰り返す傾向がみられます。

全国の動向としては、年内に実施される早期入学者選抜の受験者が増え続けており、本学も例外ではありません。また、感染症対策の緩和により首都圏の私立大学の入学者数が増加したことや、長期的な18歳人口の減少の影響もあり、本学の本年度の入学者数は昨年度よ



新入生オリエンテーションでの山田商学部長の挨拶（4月4日）

り15名少ない167名でした。ただ、早期入学者選抜の志願者数は増加しており、少人数教育やアジア重視の学び、実践的商学・観光産業学の教育といった本学の特色は一定の評価を受けているものと考えます。

今後も、グローバルな社会・経済環境と地域社会の変化とを的確に捉え、受験生および地域社会にとって魅力にあふれた大学づくりに邁進していく所存です。

(入試・広報センター長 佐藤 千歳)

新 年次ガイダンスと 履修登録、優秀学生表彰



3月23・24・27日に行われた在学生の履修登録



2023(令和5)年度前期の在学生ガイダンスは、昨年同様に新型コロナウイルス感染症対策としてCourse Powerによるオンラインで、3月16日から実施されました。

また、新入生オリエンテーションは4月4・5日に2号館多目的ホールにて対面で実施されました。全体オリエンテーションの実施時間はいずれも午前10時からの2時間に短縮され、新入生は終了後直ちに帰途につきました。その後、在学生は3月23、24、27日に、新入生は4月7日に換気、手指消毒などの感染症対策を講じたPC教室で履修登録を行いました。

例年、本学では新2・3年次の学生を対象に、北海商科大学教育振興資金による学業成績優秀学生・課外活動優秀学生表彰を実施しています。2022(令和4)年度においても、学業成績優秀学生として通算GPA(Grade Point Average)ポイントに基づく成績評価で上位3位までの学生3名(新3年次は一部同点のため4名)を選出し、履修登録日である3月23・24日の両日に学長より表彰するとともに、表彰金を授与しました。このたび、見事に授賞された皆さんには、授賞を契機として今後もモチベーションを一段と高め、学業成績の一層の向上や課外活動で多くの成果を上げられるよう期待しています。

(教務センター長 中西 良之)



2022(令和4)年度
学業成績優秀学生表彰者

新 2 年 生	山本 優香
	萩澤 りんな
	照井 陽毬
新 3 年 生	松山 創平
	山本 みづき
	北原 萌果
	平尾 菜奈美

※敬称略



学業成績優秀学生の皆さんと伊藤前学長（写真上：新2年生、下：新3年生）

入 学前教育について

鉄は熱いうちに打て

本学における入学前教育は3年前から総合型選抜入試合格者に対して実施しております。まず、本学の特徴である語学教育への準備として国語と英語の基礎力を定着させるため、Eラーニング教材を用意しています。教育工学を専門とするニールセン教授が中心となって作り上げた本学独自のシステムです。画像や音声も取り入れ楽しみながら学べる工夫がされており、目標の正答率がクリアするまで何度も挑戦できるといったEラーニングならではの教材です。毎年、修了者全員と個別面談を実施し、システムを改善しています。昨年度も面談結果をふまえ、スマートフォンを用いた学習を可能にし、教員や学習者が相互に意見交換をできる仕組みを取り入れました。さらに、「留学に向けて早めに韓国語や中国語を学びたい」という声が多く聞かれたため、今年度は韓国語と中国語の教材も作成しています。1年生後期の海外語学留学が再開されたのに合わせ、高校在学時から一足早い学習が可能となる予定です。

次に、「商学」について学ぶ教材として、進研アド「サキドリ」プログラムを採用しております。こちらは、その名の通り大学での学びの「さきどり」を目指したものです。商学、経済学、観光といった社会科学系の基礎を幅広く学べるようになっていきます。これも面談時のアンケート結果としてあった「大学での学びに対する不安」を軽減するために始めましたが、受験科目になく普通高校の生徒にはなじみのない「商学」という学問領域のイメージを明確にし、大学ではどのようなことを学ぶのかを知ってもらいモチベーションを高めるのに役立っております。

「韓国語・中国語を学びたい」、「商学を学びたい」、「観光について学びたい」といった具体的な目標を持ち総合型選抜入試を受験する生徒のやる気をそのまますぐに活かし、大学入学までの期間をより充実して過ごせる教育を今後とも目指していきたいと考えています。

(入試・広報センター 保坂 智)

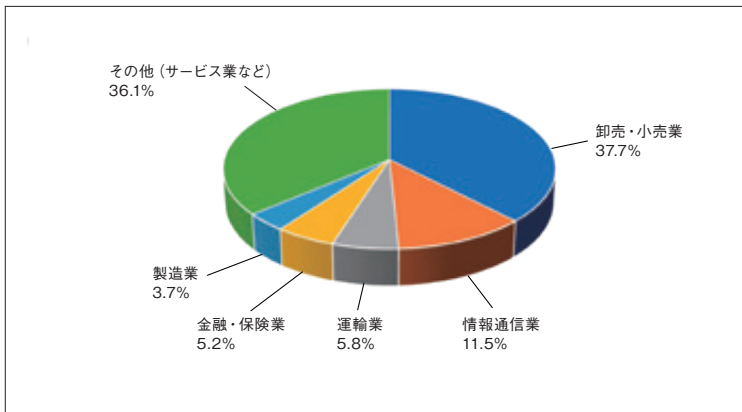
就 2022年度 職状況および 2023 年度の動向について

2022年度(2023年3月)卒業生の就職決定状況は以下です。商学部全体で95.5%(商学科95.6%、観光産業学科95.2%)でした。就職先としては、卸売・小売業が約4割を占め、次いで、情報通信業、運輸業、金融・保険業が続きます。卸売・小売業および情報通信業の2業種で約半数を占めます。これら就職先の業種の割合については、コロナ禍前より大きく変化することがない傾向を示しています。

次に、今年度(2023年度)の就職活動の動向については以下です。2024年春卒業予定者の就職活動が本格的に始動して数か月が経過しました。いまのところ企業の採用意欲も高く、学生にとっては「売り手市場」の様相を呈していると巷ではいわれています。しかし、これらを鵜呑みにして勘違いをしてはいけません。冷静に見極める必要があります。なぜならば、「売り手市場」とは、就活市場全般のことを表しているわけではないからです。企業の規模によって状況は違います。事業規模が小さく人材不足の企業では確かに学生にとって「売り手市場」ではありますが、事業規模が大きい企業もしくは人気企業では、決して「売り手市場」ではないからです。

新型コロナウイルス禍で落ち込んでいた経済状況も好転の兆しをみせ始めた今だからこそ、大企業と中小企業との格差の発生、業種別の格差の発生を認識して、自身が志望する業種および職種の動向と向き合う必要があります。(キャリア支援センター長 伊藤 寛幸)

2023年3月卒/業種別就職状況



北海学園大学と合同で行われた学内業界研究会（2023年2月21・22日）と企業説明会（3月1～3日）



5月28日に開催されたオープンキャンパスで行われた総合型選抜入試志望者向けの小論文試験対策講座

英語・韓国語のEラーニング教材

Reading	Time (mins.)	Attempts	Passing Score (%)
Single Paragraph Reading 1	10-15	3	80%
Multiple Paragraph Reading 1	10-15	3	80%
Sentence Ordering 1	10-15	3	100%
Grammar	10-15	3	100%
Grammar Lesson 1 (P.101)	10-15	3	100%
Listening	10-15	3	100%
Listening for Main Ideas 1	10-15	3	80%
Listening for Details 1	10-15	3	100%
English Sounds 1	10-15	3	80%
Speaking	10-15	3	80%
Classroom Conversation - Part 1	10-15	No limit	80%
Classroom Conversation - Part 2	10-15	No limit	80%
Classroom Conversation - Part 3	10-15	No limit	80%
Classroom Conversation - Part 4	10-15	No limit	80%
Time Required (Total)	10-15		

英語・韓国語のEラーニング教材

Reading	Time (mins.)	Attempts	Passing Score (%)
Single Paragraph Reading 1	10-15	3	80%
Multiple Paragraph Reading 1	10-15	3	80%
Sentence Ordering 1	10-15	3	100%
Grammar	10-15	3	100%
Grammar Lesson 1 (P.101)	10-15	3	100%
Listening	10-15	3	100%
Listening for Main Ideas 1	10-15	3	80%
Listening for Details 1	10-15	3	100%
English Sounds 1	10-15	3	80%
Speaking	10-15	3	80%
Classroom Conversation - Part 1	10-15	No limit	80%
Classroom Conversation - Part 2	10-15	No limit	80%
Classroom Conversation - Part 3	10-15	No limit	80%
Classroom Conversation - Part 4	10-15	No limit	80%
Time Required (Total)	10-15		

◆特集 座談会

コロナ禍も3年が経ってようやく落ち着きを見せ、その間中断を余儀なくされた国際交流の再開が徐々に始まりました。この4月には提携校の中国の煙台大学、韓国の大田大学校から留学生を迎え、6月にはカナダのレスブリッジ大学からも研修生がやってきました。また9月には、本学からそれぞれの大学に交換留学生を派遣します。留学への期待が高まっている今、そこで、現在本学に迎えた留学生と、これから留学へ向かう学生の皆さんに胸の内を語ってもらいました。

3年ぶりの留学再開を語る！

◆出席者◆

司会	郭 倩 講師
中国・煙台大学	馮 曉慧 韓 篠彤 羅 思穎 李 曉寒 張 家豪
韓国・大田大学校	キム ジュネ ソン ジェチャン
北海商科大学	青田 夢乃(4年) 井上 楓花(4年) 遊佐 七海(4年)
	中村 早那(4年) 池上 歩実(4年)



郭 倩 講師

本学で現代ビジネス、東アジア観光、観光発展史を担当。
出身は中国天津市。2009年に初めて短期留学生として北海商科大学に1ヵ月間の留学を経験し、それ以降5年間、北海商科大学大学院において観光に関する研究に取り組む。2022年から現職。

留学のきっかけ

司会 私もこの大学に何年か留学した経験があります。今回は同じく留学経験や来学中、これから経験するみなさんに来ていただきました。ではまず留学をした、目指したきっかけを教えてください。

井上 中学のときから韓国の音楽、アイドルや文化に興味があって、韓国語も独学で勉強し始めました。本場の韓国に行って韓国人と話すことで実力も上がるのではないかと、留学を決意しました。

青田 私と同じくK-POPにハマって韓国語の勉強を始めました。そのあとに、将来は外国語を使って仕事がしたいと考え、留学できるというのがこの大学に決めた大きな理由だったので、実際に行って実力をあげようと留学を決めました。

キム 僕は前から日本に住みたいと思って日本語を勉強していたところ留学の機会があって、住んでみようかと思って来ました。

李 煙台大学と北海商科大学のオンライン交流活動に2回参加しましたが、対面コミュニケーションの必要性を感じ、日本に行ってもっと実際に交流したい、一緒に日本語を勉強したいと思いました。

韓 私はコロナ禍もあって、毎日学校で授業を受けて家に帰るだけの生活がつまらないと思っていて、違う生活が送りたいと留学しました。こちらでの生活は楽しいです。

司会 これから留学に行く予定の2人もいますので、中村さん、池上さん、留学を目指した、行こうと決めたきっかけはなんですか？

中村 私は大学から中国語を勉強し始めました。もともと中国に対してあまりいい印象がなかったんですが、実際に中国人の先生から中国の文化などについて授業を受けたときに、自分が思っていた中国とちょっと違うな、と思って。実際に中国に行ったらもっと違う感情が得られるかもしれないと考え、行ってみたいと思いました。それと、自分の性格を変えるためというのもひとつの動機です。もっとオープンになりたいというか。ちょっとネガティブ思考なんですけど、留学すればいろんな人と関わるし、性格が変わるのかなと思って(笑)。

池上 私は大学に入る前からずっと留学したいと思っていて、北海商科大学に入学したのは留学制度があったことが理由の一つでした。なぜ中国かという、母が何回か中国に行っていたことがあって、そのときの話を聞いていると、日本にいないだけではわからない世界があると思いますし、中国には計り知れない文化や景色などたくさんあるので、実際に体感したいと思いました。あと、中村さんが言ったように、自分の価値観や性格など、留学に行くことによって違うなにかが得られるのではないかと思います留学を目指しました。今からワクワクしています。



万里の長城



留学先で印象に残っていること

司会 留学先で印象に残っていること、中国、韓国の皆さんは今、印象的なことはどんなことですか？

遊佐 韓国は人との交流の仕方が日本とは違うなという印象でした。日本よりも積極的な人が多いので、初めて会ってもすぐ話しかけてくれたりする人が多い感じです。

司会 韓国人には積極的な人が多いのでしょうか。キムさん、どうですか。

キム 人によって違うと思いますが、多くはそんな感じだと思います。

青田 私が韓国で一番驚いたのは、交通費が日本に比べてすごく安いことです。バスは120円くらい、タクシーも日本よりかなり安くて、留学中は節約に努めていたのすごくありがたかったです。



伝統衣装チマチョゴリを着て

キム 僕は今、北海学園大学のアメフト部に所属し部活をしています。韓国には部活がなく、あったとしても個人個人でやる感じです。日本では、部活に入った瞬間にみんなチームになって支えてくれるというのを感じています。

ソン 私が印象的なのは、街に車が停まっていないことです。道や道以外に駐車していることが少ない。こっちは道に車がなくてきれいです。

羅 驚いたことはいろいろありますが、日本に来たばかりのときはゴミの分別が大変でした。中国ではペットボトルもそのままほかのゴミと一緒に捨てていいのですが、日本では、ペットボトルはプラスチックゴミなのか迷っていたら資源ゴミだったり。ちょっと大変ですが今は慣れました。最初はびっくりしました。

張 私は、アニメ専門店が多いことにびっくりしました。マンガの種類も多いので、私の好きなマンガが見つかります。すすきのアニメのお店に行ったら、とても楽しかった

です。

馮 日本の風景が中国と全然違うことです。雪山が多いです。とてもきれいで好きです。小樽にも行きました。それから、日本のビル、建物が中国より低いと思いました。あと、街の中にゴミ箱がないので、飲み物を飲んだあとの容器をバッグに入れて持ち帰らなければならない。最初はちょっと慣れませんでした。今は街にゴミがないのできれいだと思います。

留学前と後の変化について

司会 次は、一番大事な質問ですが、留学前と比較して、自分自身になにか変化がありましたか？どんな変化があったのか教えてください。

井上 私自身、心配性で物事を始める前に考えてしまうことが多くて、なかなか行動に移すことができなかったんですが、急遽、留学が決まったため、何事もすぐ行動に移さなければならませんでした。韓国に行ってから積極的に話しかけたり、自発的に行動できるようになったかなと思います。

遊佐 私も性格面で、忍耐力と努力を継続させる力がついたと思います。韓国にいた間は勉強がまったく苦ではなくて、自分が好きなことだからというのがありますが継続することができて、そのことは今にも生きていていると思っています。前より前向きな気持ちになれるようになったかな。

ソン 私は経済感覚が身につきました。韓国にいたときは、自分で日用品などの買い物をすることがなかった。なんでも両親に買ってもらっていたんですが、今は自分で買うしかないので、どうやってお金を節約して効率的に使うか、考えるようになりました。

羅 私にとって大切なのは、日本語の能力に自信が持てるようになったことです。今はだいたいのコミュニケーションができるし、日本人が話していることもだいたいわかるので、自信になりました。

李 学んだ日本語を生活に生かすのが難しいですが、こちらにきたら日本語で話さなければならなかったのも、自分の日本語の能力を高めることができると思います。

韓 私もそうです。

馮 私は料理をするようになりました。寮でご飯を作り、韓さんと羅さんに私の手料理を食べてもらいました。

韓 馮さんの作った料理、おいしいです！



料理中

留学への期待と不安について

司会 これから留学に行く2人、留学生のみなさんはまだ来て1カ月ですが、これから楽しみにしていること、不安なことはなんですか。

中村 楽しみにしていることは、現地の方と交流できることと、中国の有名な場所に行ってみたいです。不安なことは生活費などの金銭面です。あとは、自分の中国語力はそんなに高くないので、中国人の方とちゃんとコミュニケーションできるのかなという不安はあります。

池上 楽しみにしていることは、私もいろんな観光地やスポットに行ってみたい。本場の中国料理も楽しみにしています。不安なことは、なにを持っていったらいいのかというのと、私もまだそんなに中国語が話せないので授業についていけないか不安です。

キム 不安なことは、7月に日本語能力試験があって、それに合格できるかということです。楽しみは日本の野球が観られること。エスコンフィールドで野球を観たいです。韓国でも野球はよく観に行っています。

ソン 私も不安なのは日本語能力試験と、病気にならないかが一番心配です。楽しみにしているのは、札幌以外の地域に行ってみることです。個人的に行きたいところは仙台、東京、京都の3つです。

羅 不安は、北海道の冬がどれくらい寒いのかということです。私の出身は南の方の広東省なので、初めての北海道の冬が寒すぎて怖いです！（笑）

馮 日本語能力試験など不安もありますが、今、友達と一緒に留学していることが最高に楽しいです！

留学経験者から留学のアドバイス

司会 留学への不安が出ていましたが、留学経験者からなにかアドバイスはありますか。

青田 持って行ってほしいのは自分の国の調味料です。私たちは半年間自炊できなかったので、パックご飯にふりかけをかけて食べたり、醤油を持っていったり、ちょっとでもご飯が楽しめるようにしていました。

遊佐 似てますが、レトルトの味噌汁。

司会 私の山東大学に来たみなさんの先輩は、みんな小さな袋に入っている味噌汁を持ってきていました。風邪をひいたときにすごく助かった、と言っていましたね。

遊佐 薬は体に合わなかったりするので、自分で使い慣れているものを持っていったほうがいいです。現地の薬は強いので合う、合わないがあると事前に言われて、自分のものを持っていきました。

井上 私も薬です。私はお腹が弱くて、最初は韓国の辛いものを食べてお腹が痛くなることが多かったので、鎮痛剤は持っていったほうがいいと思います。

青田 語学の面では、留学しても人と関わらない限り会話は絶対上達しないし、スラングなど教科書には出てこない表現も会話の中に出てくるので、私はメモするようにしていました。気になったところは友達に聞いていました。

遊佐 私はできるだけ自力で話そうと努力していました。ちょっと間違っけていても理解はしてくれたんですが、わからない場合はその理由を聞いたり、わからなくても翻訳機を使って見せるのではなくて、自分で発音して聞くようにしていました。

司会 中国に留学に行くとき漢字は共通している部分があるので、なんとなく伝わっちゃうんですね。するとそれに頼ってしまう。漢字の意味はわかっても、中国語でどう発音するのか、ちゃんと発音することはやらなければならないですね。

井上 私たちが韓国へ行ったときは、日本文化に詳しくなかったり日本語がすぐできる人が多くて、韓国人が日本語で話しかけてくれました。でも、なるべくお互い韓国人は日本語、日本人は韓国語で話そう努力していました。日本の文化が好きで近づいてきてくれる人も多いので、自分から積極的にいくのがいいと思います。

司会 共通する話として、中村さんと池上さんが中国に行ったときに、おそらく今ここにいる留学生のような日本語学科の学生と交流する場面が多くあると思います。みなさん日本語で話しかけてくるので、日本語だけで会話が終了しないよう調整が必要ですね。今日は、留学中のことや現在進行していること、楽しみにしていることなど、たくさん話を聞かせていただき、ありがとうございました。



アニメグッズ



お花見



写真前列左から煙台大学の韓篠彤さん、羅思穎さん、馮曉慧さん、李曉寒さん、本学の中村早那さん、池上歩実さん。後列左から張家豪さん、大田大学校のキムジュネさん、ソンジェチャンさん、本学の井上楓花さん、遊佐七海さん、青田夢乃さん

国際交流について

各協定校との交流事業が順次再開される

2019年の終わりに2020年の初めに耳目をひき始め、その春から本格的な禍として世界的に拡散した、いわゆる新型コロナウイルス関連被害は、日本国内で5月初頭から「新型コロナウイルス感染症」が「季節性インフルエンザ感染症」と同様に感染症法上5類へ類型変更されたこともあり、当センターを取り巻く状況が好転する兆しがみられ、今年度各事業の継続・再開を準備する時期となりました。北海商科大学は中国(山東大学・威海分校、煙台大学)、韓国(大田大学校)、そしてカナダ(レスブリッジ大学)の各協定校と交流事業(交換教授・学生の派遣及び受入)を実施しています。前年度は実務上の諸制限を抱えながらも、韓国へのみ10数名の派遣を実施できました。今年度はその継続に加え中国留学の再開を見込んだ準備を開始するべく検討しており、すでに交換留学生の来日は煙台大学から5名、大田大学校から3名が受入済みで、また北海学園大学と合同でレスブリッジ大学から数名の留学生を短期受け入れする準備がほぼ整っております。来年度はレスブリッジ大学夏季短期派遣を実現できることを願っております。

2023年度カナダ・レスブリッジ大学交換学生受入

北海学園が交換協定を締結しているカナダのアルバータ州立レスブリッジ大学より、交換学生9名が6月2日(金)～6月24日(土)の日程で訪れ、ホームステイ先の各ご家庭で充実の日々を過ごしてもらうこととなります。この間、平日の多くは午前中を中心に講義他が組まれ、午後からや週末にはホストファミリーと楽しい時間を満喫してもらいます。前回2019年度の研修日程と同様に、講義「日本語研修」および「日本学研修」が主に午前中に実施され、前者は北海学園大学の各教員がご担当され、後者は本学教員もおおよそ半分の講義を担当する形で進行する予定です。6月6日(火)に交換学生向けオリエンテーションおよび歓迎昼食会が、6月22日(木)に修了式および送別会がそれぞれ開催されます。また日程半ばでは函館への一泊研修旅行も組まれています。(国際交流センター長 原子 智樹)



写真は6月6日に行われた歓迎昼食会と期間中に行われた研修(原子智樹先生)の様子



写真は上左から順に協定校の山東大学【威海】、煙台大学、大田大学校(右2枚共)、下はレスブリッジ大学(2枚共)

留学報告記

●商学科3年 加藤 瑚葉



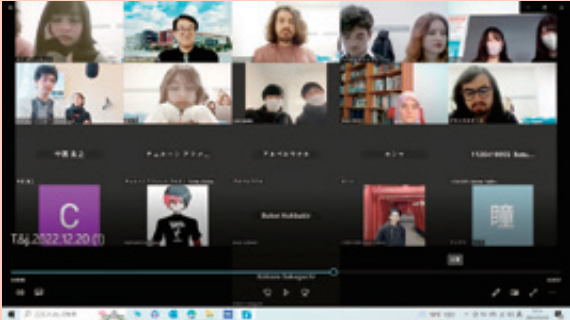
私は昨年の後期、韓国の大田大学校へ留学に行きました。大学では、興味があった「現代美術」や「日本文化の理解」などの授業を取り、現地の学生と同様に講義を受けました。授業の中で専門用語が多く出てきて少し苦戦しましたが、より実践的な韓国語を身につけることができたと思います。大学外での生活は、韓国の友人と野球観戦をしたり、カフェで勉強をしたり、とても充実した時間を過ごしました。なかでも強く思い出に残っているのは、学校祭です。アーティストが来て野外でライブを見た後、花火があがり、日本では体験できないような規模で行われた学校祭でした。留学から得た経験はとても大きいです。韓国語を人前で話すことに最初は抵抗を抱いていた私ですが、現地の人たちや友人と会話を重ねていく中で段々と自信をつけ、今では物怖じせずに話せるようになりました。これらの経験を、異文化交流やこれから始まる就職活動に役立てていきたいです。



写真左は大学祭、右は修了式

トルコ国立エルジェス大学との国際交流

2022年12月20日、コマースゼミⅠ・Ⅲ（中西良之ゼミ）ではトルコ国立エルジェス大学日本語日本文学科の学生とZoomによる合同授業を行いました。エルジェス大学イギルウォン教授からコロナ禍でも両国の学生交流を行いたいと希望があり、お互いの習慣や観光、産業などをプレゼンすることになりました。商科大学側は4年生（当時3年生）の久慈彩加さん、岡島由依さん、3年生（当時2年生）の田中琉輝君、中田悠太君、吉富愛香さん、吉岡菜恵さんが日本の文化や習慣などを発表し、エルジェス大学側は、トルコの珈琲と占い、トルコのギュレシと日本の相撲、呼子言語などを発表しました。その後、活発な質疑応答が行われ、文化や習慣の違いなど新たな発見があり、異文化への理解が深まりました。終了後もSNSアドレスを交換して学生交流が続けられています。合同授業は、イギルウォン教授と中西教授との友人関係が両国学生の国際交流に発展したものです。2023年、トルコで大地震がありましたが、震源地から離れており、学生の無事が確認されました。



▲写真左上はエルジェス大学の学生の皆さん。左下は合同授業のZoom画面、右は吉岡さんと吉富さんによる報告

外国語スピーチコンテストについて

第24回 北海道韓国語弁論大会にて本学の学生が大賞と銀賞を受賞しました

去る12月10日(出)、北海道立近代美術館講堂で第24回北海道韓国語弁論大会が開催されました。本大会は、札幌韓国教育院が主催し、駐札幌大韓民国総領事館、札幌市教育委員会、北海道新聞社などが後援する道内で最も大きい韓国語大会です。水準の高い大会でしたが、本学の杉浦花弥子さん(商学部2年生)が「韓国ドラマ『賢い医者生活』の日常性とその感動に関して」というテーマで見事に最優秀となる大賞（駐札幌大韓民国総領事賞）に輝きました。また、伊藤空流さん(商学部2年生)も『『ご飯食べた?』という韓国の挨拶と『モッパン』』というテーマで銀賞（札幌韓国教育院長賞）を受賞しました。杉浦さんは、独学で韓国語を勉強し、入学してから本格的に韓国語を始めたケースであり、伊藤さんは高校の時から韓国語を学んできています。



▲写真は、左から李鳳准教授、杉浦花弥子さん、伊藤空流さん

さらに、ふたりとも総合型選抜の枠で入学し、1年生の時から本学内の上級クラスで韓国語の勉強に励んできました。さらに、ふたりとも2年生で、さらに留学経験もない状態であるにもかかわらず、昨年TOPIK（韓国語能力試験）最上級の6級も取得しており、今回このような優れた結果を出してくれました。改めておめでとうございます。（李 鳳）

第22回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選・第4回全日本大学生中国語スピーチコンテストに入賞

5月28日、第22回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選・第4回全日本大学生中国語スピーチコンテスト東北・北海道ブロック（東北地方、北海道、長野・信越地方）大会が札幌大学で開催されました。今回の予選大会は3年ぶりの対面方式で行われ、出場者は一生懸命頑張って最高のパフォーマンスを発揮しました。

本学からは観光産業学科4年の池上歩実さん、3年の平尾菜奈美さん、および商学科3年の毛塚結捺さんが出場しました。池上さんの「天下一家——来自WBC的感动」は、内容が面白く、発音が優れていると高く評価されました。今回の大会は彼女にとって「漢語橋」への二度目の挑戦で、見事に三等賞を獲得しました。来月には、東北・北海道ブロックの代表として東京で行われる決勝大会に出場する予定です。平尾さんと毛塚さんは全日本大学生コンテストに参加し、それぞれ「共创美好明天」、「为实现天下一家亲而共同努力」をスピーチして優秀賞を得ました。二人は、「今回の大会を通して、とても成長できた気がした。これからさらに中国語の勉強を頑張っていきたい。」と話していました。

今後の更なる健闘を祈ると同時に、本学から多くの出場者が続くことを願っています。（中国語担当 劉 玓・蘇 林）



▲写真上は、左からサポート留学生の張さん、李さん、平尾さん、池上さん、毛塚さん、羅さん。写真下は池上さんの書道パフォーマンス

全日本学生フルコンタクト空手道選手権優勝

大学4連覇を目指して

昨年11月20日(日)、「第1回全日本学生フルコンタクト空手道選手権大会」が東京都国立代々木競技場体育館で行われ、本学商学部2年生の河合透吾君（当時1年生）がクラス別重量級で初優勝を飾り、初代チャンピオンになりました。オリンピック種目の空手とは少し違う実践的なフルコンタクト空手ですが、国内に20万人、世界に2,000万人の競技人口を持つそうです。

河合さんは小学3年生の時から空手を習い始め、中学校3年生の時には、このフルコンタクト空手全日本大会のジュニア部門で優勝経験があります。通っていた小学校の体育館でこの教室が開かれていたことや、武道特有の礼儀作法なども身につけて欲しいというお母さんのすすめもあり、近くの空手道場に姉弟で熱心に通うようになりました。その後高校生になり、さらに技の向上を目指し別な道場に移籍。室蘭にある道場修武會まで週に2日、1泊2日の時間をかけて指導を受けに通う決意をしました。「室蘭の道場主は自分の空手の幅を広げてくれた方で、その指導のもとで目標である世界大会優勝を目指して練習を続けようと思いました」。現在も大学の講義が終わる金曜日の夕方に室蘭まで通います。

世界チャンピオンという大きな目標もありますが、「父が自営業で、その姿を見て育ったことで、進路として起業を考え経営の勉強も志しました」と、本学への入学を決めたそうで二つの道をめざします。現在は室蘭の道場の札幌支部として、自宅地域の子供達にも空手を教えています。そして当面の目標、大学4連覇達成に向けて頑張っています。



優賞トロフィと賞状を手にした河合透吾さん

サークル活動の紹介

コロナ禍で2年間の活動自粛を余儀なくされた本学のサークル活動は、昨年度より感染対策を徹底するという条件付きの活動再開に至りましたが、実際の活動は低迷した状況が続きました。今年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、感染対策が基本的に個人や事業者の自主的判断に委ねられることで、新学期に入った当初はサークル活動の活発化も期待されましたが、各サークルの新入生勧誘をめぐる動きからは、今一つ鈍いものが感じられます。

本学では昨年の5月時点で、軟式野球部、フットサル部、バレーボール部、テニス部、バスケットボール部、陸上部の体育系6サークルと、中国語、韓国語、ツーリズム研究会、教育研究会、軽音、環境ボランティアの文化系6サークルの、合わせて12のサークルが登録されており、これにサークル連合執行部と大学祭・体育祭実行委員会の運営2団体が加わっていました。しかしサークル・団体加入学生の多くがコロナ禍前年にあたる2019年度の大学入学者であり、この中核を成す層が今年3月にそろって卒業したことから、多くのサークルがメンバーの激減に直面したようです。

こうしたなかで休部サークルの活動再開が1件、新サークルの公認申請やその前段階にあたる同好会結成の動きも3件あり、今後は一部で公認サークルの入れ替えが進むことも予想されます。学生生活にメリハリを与え幅のある人間関係を築きコミュニケーション力を培うサークル活動がこれからも育つことを願っています。

（学生支援センター長 村松 祐二）



5月21日の植栽活動に参加した環境ボランティアサークル等の学生と豊平地区町内会連合会の皆さん、留学生会館の皆さん



北海道地区大学軟式野球連盟に所属する軟式野球部（2022年）

ゼミ訪問

◆ 堤悦子教授 コマース研究ゼミナール ◆

商学科の3年前期（第5セメスター）に開講されている「コマース研究ゼミナールⅡ」と、4年前期（第7セメスター）の「コマース研究ゼミナールⅣ」。堤ゼミでは、社会や地域が抱える課題を解決するプランを作成。今期は、地域活性化につながる新たな観光の提案を目指しています。

自由で民主的な活動を基盤とする経済社会も、過疎化や少子高齢化による問題、環境問題やエネルギー問題など、現代日本社会が抱える課題がさまざまに表面化しています。地域や企業では、今後の経済社会のあるべき姿として、誰もが平和で安心して暮らせる持続可能な社会を目指し、社会課題をビジネスの視点から解決しようという取り組みが始まっています。

堤ゼミでは、こうした社会の現状を踏まえ、社会課題を解決するためのプランを作成。新ビジネスや改善策として実際に提示することを目標としています。これまで経済産業省「キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）」や、総務省「起業家甲子園」にプランを応募し、多くの先輩が入賞を果たした実績があります。最近作成したプランは、増加している空き家対策としての、シェアオフィスやグリーフケア施設への活用。北海道警察の社会貢献団体や企業家に向け、オンラインで発表会を行いました。また、社会貢献活動にも取り組み、地元NPO法人による豊平川のクリーンアップ活動に参加し表彰されています。

今期の3年次前期（第5セメスター）と4年次前期（第7セメスター）の堤ゼミでは、地域活性化をテーマに、北海道の観光地の掘り起こしに取り組んでいます。あまり観光地としては認識されていない地域や場所に、どうすれば観光客を呼び込めるか、実際に訪問調査し、地域活性化につながるプランを作って提案するまでがミッション。

今期の3年次前期（第5セメスター）と4年次前期（第7セメスター）の堤ゼミでは、地域活性化をテーマに、北海道の観光地の掘り起こしに取り組んでいます。あまり観光地としては認識されていない地域や場所に、どうすれば観光客を呼び込めるか、実際に訪問調査し、地域活性化につながるプランを作って提案するまでがミッション。



写真上は堤ゼミⅡ・Ⅲの皆さん。下は外部講師として招いた豊平警察署の皆さん



日商簿記1級 最難関試験に見事合格しました

昨年11月に行われた、日本商工会議所（日商）主催の簿記検定試験で、難関の1級に本学の本間悠馬さん（商学科3年）が合格（当時2年生）しました。日商簿記1級の合格率は例年10%前後で商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算の4科目の知識が問われます。本間さんはすでに高校時代（札幌啓北商業高校）に3級、2級を取得していました。商業高校では簿記の勉強は必須ですが、高校時代に1級試験を目指す人は多くないそうです。高校時代の担任が簿記の担当で、とても分かりやすい授業をしてくれたこともあり簿記コースに進んだそうです。

本学入学後は、コロナ禍のためオンライン講義がほとんどになり、積極的に自分で時間を管理するようになりました。そのような環境の中で、高校時代に取り組んだ簿記の上級資格に挑戦しようと考えようになり1年次後期から勉強を始め、2年次11月の試験で合格。

本学では中西先生、橋元先生のゼミを受講するなど資格取得にとどまらず、将来的な進路を見定めて、経済活動に欠かせない企業経営、経営分析に関わる講義などを履修、会計事務所や企業の経理業務の仕事に就きたいと考えているそうです。



簿記1級検定合格証

高校生懸賞作文の募集

（主催：北海商科大学 後援：北海道新聞社）

北海商科大学主催（後援：北海道新聞社）の北海道の高校生を対象とした懸賞作文の募集は、今年度で11回目をむかえます。この高校生懸賞作文は、高校生の鋭い観察眼で現代の市場、マーケティングへの関心を文章でまとめることを主旨としています。北海道内でも年々浸透し、それに伴い応募者数も増加しています。作文のテーマは、「①日本と世界の人に広く薦めたい私のまちの観光スポット」「②日本と世界の人に広く薦めたい私のまちのグルメ」「③日本と世界の人に広く薦めたい私のまちのお土産」の中からひとつを選んでいただきます。締め切りは2023年9月15日（金）です。応募要項、リーフレットは6月20日



頃に道内の高校、図書館に発送するとともに本学のホームページでもお知らせします。入賞者には表彰状と副賞（図書カード1位3万円、2位2万円、3位1万円）が渡されます。高校生のお知り合いの方がいらっしやいましたら是非ご案内ください。

（入試・広報センター 郭 倩）

O・B・O・G NOW!

英語力を広い分野で活用していく事が出来る魅力を感じて

高校生の頃から、英語に力を入れて学習をしており、将来は英語を使ってアジア圏でグローバルに活躍出来る仕事をしてみたいと思い、北海商科大学への入学を決めました。

商科大学在学中は、留学生との交流を盛んに行い、韓国や中国からの交換留学生と北海道のイベント（YOSAKOIソーラン祭り等）を見に行ったり、歴史的建造物を巡るなど、異文化交流を通して沢山の刺激を受け、各国の人の文化の違いを知る事が出来る貴重な学生生活を送りました。又、自分自身は在学中に留学経験はなかったものの、北海商科大学には半年～1年以上留学を経験してきた学生が多く在籍しており、年齢が違っても、ゼミや課外学習等の場で現地での経験や培ってきた知識を共有してもらえる多くの機会があり、そのような機会が現在の職業や人間性へ影響を与えていったと感じています。

在学中は他にも、オープンキャンパスや学会受付の補助など、学内行事にも参加し様々な人と関わらせて頂いたおかげで、自身のコミュニケーション能力を接客に活かしていきたいと感じるようになり、就職活動の時期にはホテル業界や空港関係の企業を中心に探していました。

その中でも私が卒業後に入社した㈱キャストは、新千歳空港内案内業務の他、飛行機の運航に関わる地上業務を担うグランドハンドリング事業を行っており、空港施設や飛行機に

●株式会社キャスト インフォメーション本部
インフォメーショングループ インフォメーションサービス1課

松ヶ崎 有希さん [平成27年(2015年) 商学部観光産業学科卒業]
マツガサキ ユキ



空港内巡回中の松ヶ崎さん

関する様々な業務に携わっている珍しい企業である事を、学内企業説明会を通して知りました。特に、インフォメーション業務は飛行機の運航監視・記録業務から、施設や交通案内など幅広い内容の問合せに対応しており、自身の英語力を広い分野で活用していく事が出来るという事に魅力を感じ、インフォメーションへの入社を志望しました。キャストはグランドハンドリング業務でも、韓国系の航空会社を始め、台湾やシンガポール行きの航空会社の旅客対応などを行っており、北海商科大学で中国語や韓国語を学んでいる皆さんが、卒業後のスキルを活かしていくには最適な環境だと思っています。「アジアの時代にアジアを学ぶ」北海商科大学の皆さんが、これからも様々な場所で活躍していく事を心から願っております。



写真左からINFO全体の雰囲気、チャンギ国際空港視察、留学生との交流

【新任教職員紹介】



■新任教員
千葉 里美
チバ サトミ
准教授

観光学I、観光ビジネス論、観光調査論などの専門科目以外にコンピューターリテラシーIを担当しています。専門は観光社会学で、現在は個々人の趣味志向に合わせた地域発の“今だけ・ここだけ・あなただけ”観光情報と地域内移動を結びつけたサービスデザインや地域ビジネスについて千歳市や上士幌町をフィールドに研究活動をしています。

私の大学、大学院時代を振り返ってみると、常に現場を大事にしている教員の側で同級生と一緒に教員の調査研究に同行したり、時には学生だけで地域の方と一緒に観光まちづくりのために汗をかいたり意見交換をしたりしていました。そう考えると、教員の出会いから様々な経験をし、今の自分が築かれた時期だと言っても過言ではありません。コロナが明けた今、学生の皆さんが大きな一歩を踏み出す力を与えられる教員でありたいと考えています。ぜひ一緒に、地域の本物に触れ、地域課題に取り組みましょう。大学生活がもっとワクワクするように。



■新任職員
北浦 淳市
キタウラ ジュンイチ
教務センター

北海商科大学の事務室（主に、教務・国際交流担当）に配属となりました北浦淳市と申します。北海学園大学経済学部を卒業後、北海学園大学附属図書館に配属され、図書館一筋で業務を行ってまいりました。

学内の他業務はほぼ未経験のため、皆様にご迷惑をおかけすることばかりかと思いますが、スポンジの如く様々な知識を吸収して一日でも早く北海商科大学の力になりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



■新任職員
白石 美也子
シライシ ミヤコ
学生支援センター

令和4年3月末に44年間務めた北海学園を定年退職し、嘱託職員として商科大1号館8階の北海学園北東アジア研究交流センターにりましたが、本年4月から本学の学生支援センターに配属になりました。

奨学金説明会に参加する1年生の多さに驚きました。また、感心したのは商科大生の中でも気持ちの良い挨拶です。素晴らしい教育が行き届いているとわかりました。どれだけ貢献できるかわかりませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

【新刊紹介】



「中国電力工業史序説」
劉玗(本学教員)著
現代史料出版 2022年



「日本帝国の膨張と縮小—シベリア出兵とサハリン・樺太」竹野学(本学教員)ほか編著
北海道大学出版会 2023年



「非営利法人の税務論点」
中西良之(本学教員)ほか共著
中央経済社 2022年



「『啓蒙の弁証法』を読む」
見附陽介(本学教員)ほか共著
岩波書店 2023年



「ウェルビーイングの社会学」
佐藤千歳(本学教員)ほか共著
北海道大学出版会 2022年



「英語再習法」
原子智樹(本学教員)著
共同文化社 2023年

大学からのお知らせ

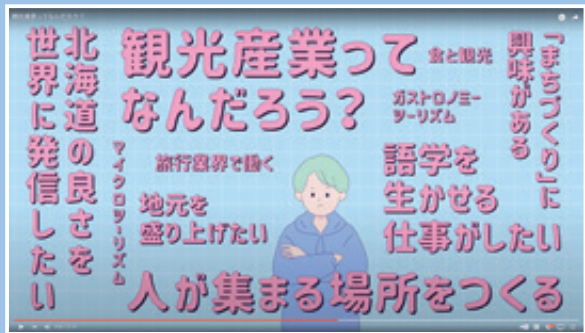
ハラスメント相談窓口を開設しました。

北海商科大学ハラスメント防止委員会委員長 李 鳳

感染症対策が緩和され、教員と学生・学生同士など、対面による接触の機会が増えています。時には、相手の言動に不快感を覚えて悩むこともあるでしょう。そこで、ハラスメント防止委員会では、学生の皆さんからハラスメントの相談を受け付けるため、メールによる相談窓口を開設しました。本委員会は、教職員がメンバーです。授業中や、授業以外でも「教員からしつこくメールやLINEで誘われる」、「教員や先輩、同級生から性的な内容を含む発言をされた」など「これってハラスメント?」と感じたら、相談窓口「prevention@hokkai.ac.jp」にメールを送ってください。相談内容や相談者名などのプライバシーは、責任を持って厳守します。

YouTube 公式チャンネルのご紹介

北海商科大学では、ホームページや大学案内パンフレットでは伝わらない情報をYouTubeの動画コンテンツとして公開しています。在学生のインタビューなど随時更新していますので、チャンネル登録をお願いします。



行事予定表 (2023年6月13日現在)

6/23 ㊦	カナダ・レスブリッジ大学交換学生帰国 オープンキャンパス会場設営日	9/19 ㊦	3年次履修相談・登録・成績不振者面談(予定)
		9/20 ㊦	4年次履修相談・登録・成績不振者面談(予定)
6/25 ㊦	オープンキャンパス	9/21 ㊦	全学年履修登録訂正日
6/30 ㊦	2年次所属学科選択「志望学科届」回答期限(予定)	9/22 ㊦	オープンキャンパス会場設営日
8/4 ㊦	前期講義終了、オープンキャンパス会場設営日	9/24 ㊦	オープンキャンパス
8/5 ㊦	夏季休業開始	9/25 ㊦	後期講義開始
8/5 ㊦・6 ㊦	オープンキャンパス	10/20 ㊦	総合型選抜Ⅰ期試験会場設営日
8/8 ㊦	前期成績開示(予定)、2年次所属学科発表(予定)	10/22 ㊦	総合型選抜Ⅰ期試験日
8/10 ㊦～17 ㊦	前期成績異議申し立て受付	10/24 ㊦～30 ㊦	後期履修登録科目の取消願受付
8/13 ㊦～16 ㊦	全学休業日	11/7 ㊦	振替講義日(金曜日)
9/9 ㊦	卒業延期者前期修学指導面談(予定)	11/11 ㊦	出席不良者後期修学指導面談
9/12 ㊦	夏季休業終了	11/24 ㊦	学校推薦型選抜(指定校制・公募制)試験会場設営日
9/13 ㊦	各センターガイダンス(予定)	11/26 ㊦	学校推薦型選抜(指定校制・公募制)試験日
9/14 ㊦	1年次履修相談・登録・成績不振者面談(予定)		特別選抜(海外帰国生徒)試験日
9/14 ㊦・15 ㊦	北海商科祭準備日(予定)	12/15 ㊦	総合型選抜Ⅱ期・学校推薦型選抜(併設校)試験会場設営日
9/15 ㊦	2年次履修相談・登録・成績不振者面談(予定)	12/17 ㊦	総合型選抜Ⅱ期・学校推薦型選抜(併設校)試験日
	高校生懸賞作文募集締切日	12/27 ㊦	冬季休業開始
9/16 ㊦	北海商科祭(予定)	2024/1/8 ㊦	冬季休業終了(1/10 ㊦ 講義再開)

◆ カウンセリングルームの利用方法 ◆

利用時間：[火曜日] 13：00～17：00 まずは、メールで予約をしてください。

E-mail：soudan@hokkai.ac.jp

予約の際は、①氏名 ②学籍番号 ③希望日時をお知らせください。その際、差し支えなければ簡単な相談内容も書き添えてください。

折り返し、相談日時などについてのメールをさしあげます。

《大学問い合わせ受付時間》■ 本学連絡先(代表) 011-841-1161

◇月～金 9：00～12：40 13：30～16：00 ◇土 9：00～12：40

*但し 日曜日・祝日・創立記念日(5月16日)

・夏季休業(8月中旬)・年末年始は除く

*記事の掲載内容に変更が生じる場合があります。

随時大学ホームページ (<https://www.hokkai.ac.jp/>) でご確認ください。

